

IceWall SSOを利用したMotionBoardへの シングルサインオンの実現

1. はじめに

本レポートでは、IceWall SSOとMotionBoardを連携させる方法についてご紹介いたします。

本記事は以下の製品とバージョンの使用を前提としています。

認証認可システム: IceWall SSO 10.0

認証認可の対象システム: MotionBoard Ver.5.5

2. MotionBoardとは

MotionBoardは、企業をとりまくさまざまなデータを価値ある情報に変える、表現力と分析力を兼ね備えた情報活用ダッシュボード(国産BIツール)です。専門知識を必要としない直感的に使える操作性と、現場の様々な要求に対応可能な柔軟性のある表現力、タブレットでいつでもどこでも情報を入手できるなど、現場部門でのデータ分析・活用を強力に支援します。

現場が持っている経験や勘に、BI(ビジネス インテリジェンス)による“データ力”をプラスし、的確かつ迅速な意思決定と、次のアクションへのスピードを加速させます。



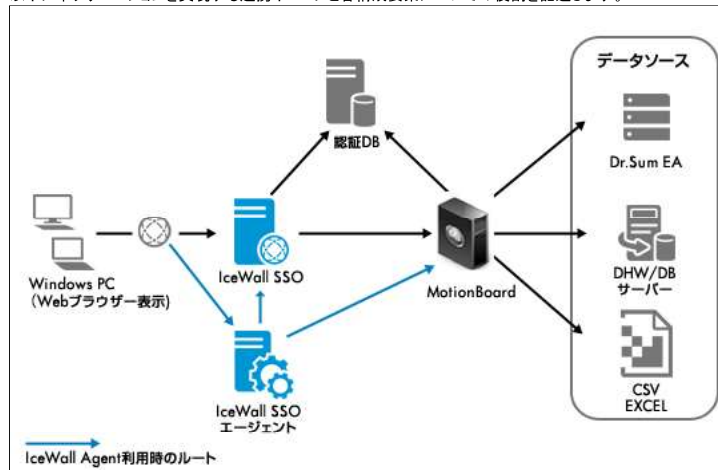
MotionBoardの詳細は以下URLからご確認ください。

▶ [ウイングアーク1st MotionBoard詳細サイト](#)

3. ソリューション構成

3.1 連携イメージ

以下に本ソリューションを実現する連携イメージと各構成要素についての役割を記述します。



項番	要素名	役割
1	Windows PC	IceWall SSOを経由してMotionBoardを利用する。
2	IceWall SSO (IceWallサーバーおよび認証サーバー)	IceWall SSOが導入されたシステム。IceWall SSOを通じてMotionBoardへの自動ログインを実現する。
3	認証DBサーバー	シングルサインオンを行うユーザー情報が格納されたDB。
4	MotionBoard	認証連携されたMotionBoard。データソースのデータを利用したBIを実現する。
5	データソース群	MotionBoardが利用するデータを持つ。

3.2 連携方法

MotionBoardへの認証にヘッダー認証を使用して連携します。

あらかじめIceWall SSOの認証DBと、MotionBoardのユーザーが同一になるようにします。

そのため、実運用を考えた場合、MotionBoardでの認証も共通の認証DBを利用するとユーザー登録の手間が省けます。

MotionBoardの設定は[シングルサインオン]画面にてHTTPヘッダーのヘッダーキーをIceWall SSOの設定値と合わせるだけで完了します。

※設定後にMotionBoardサービスの再起動が必要です。



連携設定後は、IceWall SSOを経由して認証連携されます。

リクエストURL例)

http://IceWallSSO/fw/dfw/MB/motionboard

4. 検証

4.1 検証環境の構成

検証環境で利用した製品のバージョンを記載します。

項番	要素名	導入製品とバージョン
1	Webブラウザ	Internet Explorer 11 (64bit)、Mozilla Firefox 39.0、Google Chrome 44.0.2403.125 m (64bit)
2	IceWall SSOサーバー	IceWall SSO 10.0 (Standard Edition)
3	認証DBサーバー	Microsoft Active Directory (Microsoft Windows Server 2012 R2)

4.2 検証結果

以下の項目について動作することを確認しました。

- IceWall SSOを利用して、MotionBoardのログイン画面が表示されず、自動的にログインすること(シングルサインオン)
- IceWall SSOを経由して、MotionBoardのコンテンツ変換が正しく行われ、MotionBoardの基本機能が利用できること

5. 本連携のメリット

本連携により、IceWall SSOのバックエンドWebサーバーとしてMotionBoardを接続させることが可能となります。

- 他のバックエンドWebサーバーと同様、シングルサインオン、アクセスコントロールなどの機能がIceWall SSOにより提供されます。(ユーザーの利便性向上、セキュリティ強化)
- インターネット経由でMotionBoardを利用して、様々なデータを確認したい場合など、IceWall SSOを経由させることでよりセキュリティを高める、といったことが可能です。
- 認証DBを共通とすることで、運用負荷の少ないシステムを構築することが可能です。
- Dr.SumEA DatalizerもIceWall SSOと連携することで透過的なMotionBoard - Dr.SumEA Datalizer連携が可能です。

6. 本ソリューションの前提条件

MotionBoardとの連携にての前提条件を記します。

- MotionBoard Client、MotionBoard Agent、MotionBoard Bridgeクライアントからは直接MotionBoardに接続する必要があります。
- MotionBoardからのログオフやセッションタイムアウトにて、MotionBoardのログイン画面を表示しないようにIceWall SSOサーバーにて「/login」のURLリクエストはIceWall SSOのURLにリライトしてください。
- IceWall SSO経由で透過的にMotionBoardとDr.SumEA Datalizer連携する場合、Dr.SumEA DatalizerでもIceWall SSO連携の設定が必要です。

7. おわりに

今回の検証では、国産BIツールとして日本国内で多くのシェアを持つMotionBoardと連携しました。新規でのBIの導入、既存MotionBoardとの連携など、是非ご検討ください。

お問い合わせ

ウイングアーク1st株式会社

<http://www.wingarc.com/>

お電話でのお問合せ: 03-5962-7300

受付時間 月～金(祝祭日除く)

※ IceWall Federation の設定方法やIceWall SSOについてのお問い合わせは[こちら](#)をご覧ください

2015.9.16 新規掲載

執筆者 ウイングアーク1st株式会社 開発本部 品質統括部 第4品質保証グループ 中田晃一